

漁業者と連携して浅海域の流木を回収します

7月5日からの梅雨前線の活発な活動による豪雨の後、有明海において流木の漂流が確認されています。九州地方整備局では、調査観測兼清掃船「海輝」^{かいき}、「海煌」^{かいこう}を出動させ、航行船舶の安全確保のための流木の回収作業にあたっていますが、浅海域での回収が困難となっております。

このため、漁船に浅海域の流木を沖合まで引き出してもらい「海輝」^{かいき}、「海煌」^{かいこう}で回収する、漁業者(福岡有明海漁業協同組合連合会)と連携した流木の回収作業を行います。

また、回収作業の効率化を図るため、(一社)日本埋立浚渫協会がクレーン付台船を出動させる予定です。

連携作業実施概要

実施日時 7月23日(日) 7:00~10:00

実施海域 福岡県柳川市から大牟田市にかけての沖合(下図参照)

参加船舶 海輝、海煌、漁船約170隻、クレーン付台船1隻、海面清掃船(柳大丸)



【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局

港湾空港部 海洋環境・技術課

熊本港湾・空港整備事務所

(海輝・海煌運航事務所)

課長補佐

藤井

寧

直通：092-418-3380

副所長

園田

慎一

直通：096-357-0410